

福岡県警広域緊急援助隊による土砂埋没車両救出訓練



好ゲームを演じた両チーム



備 えあれば憂いなし 本番さながらの訓練を3年ぶりに実施

市内では、昨年8月に1週間で年間降水量の約半分もの雨量を記録するなど、近年増加している風水害。そんな風水害に備えるため、市は5月15日に橋本町の旧炭鉱跡地で防災訓練・水防演習を実施しました。コロナの影響で3年ぶりとなった訓練には、消防団や医師会、市地域婦人会連絡協議会など24団体から約500人が参加。水防演習では消防団員が土のうを積み上げた他、自衛隊と警察が土砂埋没車両からの救出訓練を行うなど本番さながらの訓練となりました。

夜 空に舞う白球を追いかけて 第46回市長杯争奪軟式野球大会開幕

市長杯争奪軟式野球大会が5月11日、柳川むつごろうランドで開幕しました。大会には、市内やみやま市から7チームが参加し、トーナメントで優勝を争います。開幕戦は、柳川市役所（柳川）とRed Zoneが対戦。両チームとも投手が好投し、1点を争う白熱した展開になりました。同点で迎えた6回、柳川市役所（柳川）が機動力を生かした攻撃で勝ち越しに成功。4対2で接戦を制しました。決勝は、6月7日に市民三橋グラウンドで行われます。

ま ちかど レポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係（☎77・8425）

来 年はフジ棚の下で給食を 見頃を迎えた中山大藤を児童が散策

中山大藤が見頃を迎えた4月20日、中山小学校で「藤見散策」が実施されました。同校では郷土愛を育もうと、例年フジ棚の下で給食を食べる「藤見給食」を開催していますが、今年は新型コロナの影響で散策のみになりました。雲一つない青空のもと、フジの甘い香りが広がる中、児童たちはフジ棚の下で記念撮影するなどフジの魅力を満喫。児童の1人は「来年こそはここで給食を食べたい」と来年に向けて4年ぶりの藤見給食を楽しみにしていました。



咲き誇ったフジ棚の下を散策する児童

いちご大福の形をきれいに整える子どもたち



次々と現れる課題に悪戦苦闘



い ちごでみんなを笑顔に 第6回にぎわいイベント「いちごフェス」

柳川むつごろうランドで4月17日、第6回にぎわいイベント「いちごフェス」が開催されました。会場では、いちご大福やいちごピザ作り体験、いちごスムージー販売など柳川産のあまおうを使ったイベントが盛りだくさん。また、カヌーやドローン操縦体験やキャンプ用品、キャンピングカー展示なども行われました。いちご大福作りを体験した子どもは「いちごをきれいに包むのが難しかった。おいしくできているとうれしい」と出来上がりを楽しみにしていました。

超 高齢社会をゲームで体験 ゲームで考えるSDGsを開催

5月7日と8日に市民文化会館でゲームをしながらSDGsを考えるイベントがありました。7日に開催された「超高齢社会を体験しよう!」には6人が参加。ボードゲームを使って地域の問題を解決するシミュレーションをしました。ゲームが始まると、ターンが進むごとに老老介護や老後の貯蓄などに不安を持つ住民が次々と出現。参加者は対処に頭を悩ませていました。参加した人は「人との繋がりがこれまで以上に大切になることが分かった」と話していました。

狙いを定めて上位入賞を目指す参加者



ス ポーツで深まる親睦 市民グラウンドゴルフ大会

5月7日、三橋グラウンドで市民グラウンドゴルフ大会が開催されました。当日は天候に恵まれ、大会には236人が参加。初めて参加する人も入賞を狙う人も和気あいあいとプレイしていました。順位は3ラウンド24ホールの合計打数で決定。大会の結果は次のとおりです（敬称略、かっこ内は所属名）。優勝＝石橋静代（三橋）、準優勝＝大曲孝幸（宮上）、3位＝馬場稜夫（むつごろう）、最高齢者賞＝横山雅尚（91歳、蒲池）、高口トヨ子（89歳、三橋）

沖端水天宮舟舞台囃子保存会の子どもたちが演奏を披露



伝 統の舟舞台囃子を披露 沖端水天宮大祭が3年ぶりに開催

5月3日から5日まで、沖端水天宮大祭が開かれました。水難事故防止や無病息災などを祈願する同祭りは、新型コロナの影響で3年ぶりの開催。祭り期間中は、沖端水天宮舟舞台囃子保存会の子どもたち30人が水天宮横の掘割に浮かべた舟舞台「三神丸」で、太鼓や三味線、横笛による演奏を披露。軽やかな音色に多くの見物客が拍手を送っていました。矢留小6年の相浦華音さんは「緊張したけど、演奏できて楽しかった」と話してくれました。